

## 政治学教育における情報教育のガイドライン

### 【到達目標 1】

政治及び政治学に関する課題、事象について、適切な情報の収集・整理ができる。

### 【到達度】

情報検索、ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトなどの基本的な情報処理ができる。  
政治及び政治学関係の文献・資料の所在を知り、検索することができる。  
政治的な事象に関して、適切な情報収集ができる。  
種々のメディアの特性を理解している。  
情報倫理を身につけており、情報の信頼性・信憑性を識別できる。

### 【教育内容・教育方法】

～ は、概論及び実践紹介により理解させる。

### 【到達度確認の測定手段】

～ は、教育支援システムを利用し、小レポート、アンケート等で確認する。

### 【到達目標 2】

収集した情報の分析、課題の実証、問題の発見にICTを活用できる。

### 【到達度】

目的に沿って情報の比較、対照、処理ができる。  
情報のおかれているコンテキストを理解し、情報に含まれる多様な意味内容を客観的に比較・分析し、問題の所在を発見できる。

### 【教育内容・教育方法】

～ は、双方向性を重視し、教員と学生及び学生間のコミュニケーションを通じて教育する。

### 【到達度確認の測定手段】

～ は、講義形式の場合は、掲示板等の教育支援システムを活用して、フィードバックを重視する。ゼミナール形式の場合は、対面コミュニケーション、グループ学修を活用して確認する。

### 【到達目標 3】

コミュニケーションにICTを駆使し、発表することができる。

### 【到達度】

発見した問題に対する自らの見解を適切に表現できる。  
コミュニケーションの内容・対象に応じて、適切なメディアを選択できる。  
ICTを活用して意見発表し、他者との意見交換を通じて共通理解をつくり出すことができる。

### 【教育内容・教育方法】

～ は、ゼミ論文集の作成や学生間での研究発表、プレゼンテーションを通じて教育する。

### 【到達度確認の測定手段】

～ は、教員による評価のみならず、学生間の相互評価等により確認する。